

くめじま

歳会だより

2019.3.1
No. 67

12月定例会

12月定例会・臨時議会で決まったこと……………2P
 意見書……………3P
町政を問う 一般質問……………4～13P
 議会のうごき……………14P
 授業参観・施設視察①……………15P
 傍聴に行こう・編集後記……………15P
 授業参観 施設視察②・高齢者叙勲……………16P

平成30年度 第17回 久米島町老人クラブ連合会忘年会



華やかな舞を披露するシク同好会による「首里城音頭」
 (平成30年度久米島町老人クラブ連合会忘年会)

久米島の人口・世帯数(2018年12月末現在)
 男:4,173人 女:3,700人
 計:7,873人 世帯数:3,982世帯

平成30年12月(第8回)定例会は、12月12日から14日までの3日間の日程で行われました。定例会では、議案6件、意見書2件を審議し、すべて原案どおり可決・採択しました。12日、13日の一般質問では、10人が登壇し、活発な審議が行われました。

12月定例会で決まったこと

条例の改正 ※全員賛成

- 町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
人事院及び沖縄県人事委員会の給与勧告等を考慮し改正
- 町個人情報保護条例等の一部を改正する条例
町個人情報保護条例等の一部を改正する条例について、附則の一部を改正

議員提出 ※全員賛成

- 子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書・抗議決議書 (全文を3ページに掲載)

平成30年度補正予算 ※全員賛成

- 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
10億5427万円(5109万円減)
- 水道事業会計補正予算(第1号)
収益的収入(増減なし)、収益的支出(増減なし)
資本的収入(増減なし)、資本的支出(増減なし)
- 下水道事業特別会計補正予算(第2号)
2億9063万円(6万円増)

12月定例会で賛否が分かれた議案結果 ※起立多数

- 一般会計補正予算(第6号) 75億6247万円(2億738万円増)

賛否が分かれた議案審議結果 賛成は○ 反対は×

氏名	喜久村等	盛本實	平良弘光	崎村正明	吉永浩	赤嶺秀徳	仲村昌慧	喜久里猛	棚原哲也	玉城安雄	安村達明	翁長学	饒平名智弘	幸地猛
平成30年度一般会計補正予算(6号)について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	-

補正予算の内容：歳入予算使用料及び手数料から町債
歳出予算議会費から災害復旧費
上記の予算要求の中総務費の選挙費(県民投票に関する予算)

○：賛成 ×：反対 -：議長は(裁決に加わらない)
※その他の議案は全会一致で賛成であった。

賛成・反対討論(内容は要約しています。)

反対討論 ・県民投票に対する県民の意思は多様で複雑である。そもそも原点は普天間飛行場の危険性の除去であるが、そのことについて検討されていない。新基地はいらないとの県民の意思は先の県知事選挙の結果からも明白であり、多額の税金を投入し、さらに市町村に事務負担を強いて実施する意味が費用対効果の面からも無意味である。本件は埋立の賛成反対であって、普天間飛行場の危険性除去の方向性は、一切触れられておらず、投票結果次第では普天間の危険性が放置され、固定化のリスクが高まる。以上の結果から議案第47号一般会計補正予算(第6号)中の県民投票管理事業について、別途審議できない以上、県民投票反対の立場から本件について反対する。(赤嶺議員)

賛成討論 ・辺野古基地建設については、4年前の県知事選、そして今回の県知事選、圧倒的な民意が示されました。県民投票の署名が9万筆の署名が出され、それを受けて県議会は県民投票条例を制定しました。今日にも政府は強引な建設を進めて土砂投入をしようとしています。県民の民意を明確に示すためにも辺野古基地反対が賛成かという明確な民意を示されるべきだと思っています。町民の投票する権利を議会が奪うことは、断じて許されるものではありません。よって、私は本案に賛成する。(仲村議員)

第7回臨時会で決まったこと

平成30年11月(第7回)臨時会は、11月12日に行われました。臨時会では、議案1件を審議し、原案どおり可決しました。

- 複合型防災・地域交流拠点施設造成工事
 - 契約の方法 指名競争入札
 - 契約金額 6307万円
 - 契約の相手方 国洋建設株式会社

こどもの医療費助成制度の拡充を求める意見書、抗議決議書

沖縄県における子どもの貧困率は 29.9%で全国平均の倍以上になっており、多くの家庭で格差と貧困による生活困窮がある。必要な時に安心して医療機関を受診できることは、子どもたちの心身の健やかな成長のために必要不可欠であり、沖縄県民の要求でもある。

自治体によるこども医療費助成制度は、この 10 年間で大きく広がった。2017 年 4 月 1 日現在、政府厚生労働省調べで、中学校卒業以上の年齢まで医療費助成をしている全国の自治体は、「通院外来」で 1,500 自治体 (1,741 自治体中) で 86%、「入院」で 1,646 自治体で 94.5%に達している。

残念ながら、沖縄県内では「通院外来」で 58%であり、大きな格差がある。

2018 年 4 月より、自治体が独自に行うこども医療費助成に対し、政府が科してきたペナルティー (国民健康保険国庫補助金の削減) の一部 (就学前まで) が廃止された。少子化対策に逆行するものと自治体関係者からも意見があがるなど長年の世論と運動の成果ではあるが、まだ不十分である。年齢制限をせず完全廃止すべきである。

すべての沖縄の子ども達の笑顔のために、こども医療費助成制度における本土との格差を一日も早くなくすためにも国の制度化を早期に実現するよう求める。

平成 30 年 12 月 14 日

沖縄県島尻郡久米島町議会

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

【抗議決議書提出先】

沖縄県知事

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号(平成)を省略しております。



盛本 實 議員

問 民間の人材育成を

答 各種セミナーや研修会で
対応

盛本 本町においては、人材育成の目的で、沖縄県や内閣府及び東京事務所等に、実務研修として毎年職員派遣を実施しているが、町職員同様に民間人を対象とした人材育成に取り組む計画はないか。

町長 施策の推進を図るためには官民一体となった人材育成が必要である。補助事業により各種セミナーや研修を開催し対応している。

盛本 単発的なセミナーや研修では専門的な人材は育たないと思うが、今後の育成方法について検討する余地はないか。
総務課長 民間から人材育成の重要性及びニーズを確認しながら取り組む。

問 放置船の対策を

答 所有者の責任

盛本 本町の各漁港において廃船の放置が多くみられ、同廃船の劣化破片の飛散による

近隣住民への事故の懸念と景観上の問題から、漁港管理者として適正管理を求めめる声が多いがその対策について伺う。

町長 個人財産の為、行政では処分は難しい。

盛本 例え個人財産であっても事故防止の観点から行政の方で何らかの対策は模索できないのか。

産業振興課長 県管理の漁港もあるので、県含め関係機関及び関係者と協議を図り適正な漁港管理に努める。

問 かんがい施設の整備を

答 県へ整備要望する

盛本 本町のかんがい施設の整備率は44%と低い状況にある。農業振興において水対策は必須条件であるが、今後の整備計画について伺う。

町長 県への整備要望をはじめ、土地改良とも連携を図り

ながら計画調整を行う。

盛本 新規・更新計画も事業導入となると、受益者負担が伴うと思われるが農家負担の軽減の考慮を。

企画財政課長 関係機関と調整を図り検討する。



農業振興に貢献するカンジダム



吉永 浩 議員

問 若年者 U ターン推進策を

答 多角的に検討する

吉永 成人式において、新成人から「いずれ島に帰ってきたい。」という希望がある。町長はどう感じているか。

町長 その環境整備をするのが我々の役割。ただ行政だけでなく家族や地域の協力も不可欠。

吉永 島の求人情報を、島外在住島出身者へ一定期間直接送付してみてもいいか。

企画財政課長 成人式の場合直接配布を検討する。

吉永 Uターンと島内企業への就職や起業を条件に転居費用の支援をしてみてもいいか。

企画財政課長 ふるさと納税等の活用を含め、前向きに検討したい。

吉永 地域企業の存在を知りたい。

事もUターン促進につながる。久米島町の成人式をお祝いだけでなく、Uターン促進のための戦略的イベントにし、求人情報送付、転居費用の支援開始、地元企業との繋ぎの場にする等、推進しては。

町長 いろいろな角度から検討していきたい。

問 議会からの要望書は

答 要望の解決を目指す

吉永 フェリー車両運賃往復割引及び流通コスト改善についての町長の考えは。

町長 来年度、2度目の新造船に対する補助が対象となれば、条件として現航路の運賃見直しについて求めていきたい。

吉永 町営バスの運賃・バス停の間隔・運行時間等の見直しについて、町民と認識のズレがあるが。

商工観光課長 地域の変化を改めて見直し、利用者の声を聞き検討したい。

吉永 町長は議会からの要望書に対して、今後はどの様に対応していくのか。

町長 要望に対し、すぐ解決できるものは行い、時間と予算を用いるものは分析して、要望に応えられるよう指示していく。

他にもこんな質問

問 効果的な防犯灯について

問 町有財産の活用について

問 西銘導水路の文化遺産登録を

答 文化財登録は厳しい



喜久里 猛 議員



西銘導水路一部分

喜久里 西銘導水路は、築約400年を超え久米島の農業に多大な貢献をしているが、文化遺産登録の可能性は、登録された場合メリット、デメリットを伺いたい。

町長 この水路は、1609年開通し当時の稲作に多大なる貢献をしたが、水田から畑に変わったので、利用されないまま一部は土砂に埋もれている状況で、文化財への指定は、当時の水路構造が確認で

きないことから厳しい。メリットは管理や修復の経費が補助対象になる。デメリットは今後の開発等で制限される。

問 浄水場送水管取替は

答 道路を利用し布設検討

喜久里 具志川浄水場送水管は、そろそろ取替時期が来ていると思うが、どう考えているか。

町長 町全体の送水管取替時期にきているため、基本計画を作成し、31年から32年度に水道事業認可変更に取り組み、32年度に委託設計業務を行う予定で、具志川浄水場送水管取替は、白瀬ダムからポンプアップを行い道路を利用して布設が出来ないか検討したい。

問 燃料の海上輸送費補助は

答 安く購入できるように努力する

喜久里 県が各離島に実施している海上輸送費補助は、効果を出しているか。又、町は他離島との燃料代の比較をした事があるか伺う。

企画財政課長 他離島との比較ですが、伊江島と久米島との直近9月現在のガソリンの差額が19円の差額で、久米島町が19円高くなっている。

町長 それぞれの業者が設備投資する場合に、その工費が相当かかるので、値段にこれが加算されると以前に業界の方から報告もあった。伊江島は、JAがやっている。この違いもあると思う。これらを分析しながら、より町民が安い価格で購入できるように我々も努力したい。



平良 弘光 議員

問 役場機構改革は

答 集約化について検討

平良 本町では多種多様なイ

ベントが行われていて、役場内での事務分掌が分散されている。又、体育協会の事務を含む仮称(町民スポーツ課)を新設し、一つの課に集約することによって事務の効率的な運営を図ることはできないか。

町長 役場の機構改革については、現在、効率的な組織体制とするため、行政組織機構改革検討委員会を設けて組織体制の見直しを行っている。その中でイベント関係業務について調整をし、集約化についても検討していく。

問 防災訓練は独自性を

答 関係機関と調整する

平良 災害時に離島が抱える問題を抽出し訓練実施要領を

作成することはできないか。

支援物資の輸送訓練、傷病者搬送訓練、本土などから派遣される医師と島内医療機関との連携訓練等を実施し、一連の流れを確認することが必要ではないか。

総務課長 久米島町独自としても必要性を感じているので、今後関係機関と調整をして進めて行きたい。

問 施設整備は

答 将来的には作りた

平良 400mの全天候型陸上競技場の建設については厳しいという答弁があるが、その結論が長引くようであれば、先の子ども議会でもあるが、簡易的な全天候型トラックとフィールド競技の練習ができ

る環境づくりが絶対的に必要ではないか。

町長 将来的にはこの競技場において私はサッカーの合宿キャンプ誘致に向けても兼用の競技場を作りたという思いはある。

問 町民運動会予備日を

答 調整を進める

平良 町民運動会は年一回開催される町民の交流の場となっている。ぜひ予備日を設けて実施してもらいたい。

教育課長 他の行事とも調整をし進めて行きたい。



安村 達明 議員

問 農道整備は

答 整備する方向で

安村 マンドウ原の整備は、

何度と質問したが、実現には程遠い状況だ。住民が必要とする農道、又は祖先を供養するお墓への道このような道を町は、費用対効果の問題でかたづけている。町長の見解は。

町長 マンドウ原(お墓)の問題は、沖繩県に案件を説明し、事業メニューを検討し採択してもらいたいと、要望等も話しており、高額(1億5千万)ではあるが、整備をする方向で進める。

問 仲地集落の道路の進捗状況は

答 今年度概略設計

安村 以前から道路整備の質問をすると、何度と出る説明が、道路認定の答弁だが道路認定する基本的な手続き等に

ついて説明を。

町長 町道認定は、道路法に基づき、構造については道路構造令に準ずるものとなり、町道に認定する場合は、議会の議決が必要になる。

安村 字仲地集落の道路認定について進捗状況は。

町長 今年度概略設計を入れて、どのような事業に該当するのか準備。

問 クシ原農道の舗装は

答 31年度に実施予定

安村 県からの内示額によって事業工期の延長もあるとの答弁だった。

町長 今年度(30年度)において設計を完了し、31年度に実施する予定。

問 災害防止を

答 撤去する

安村 仲里多目的グラウンドの照明落下の危険性について、非常に危機感をもっている。

町長 今年12月議会に予算計上しており、議会承認後、照明器具の撤去を実施する。



仲里多目的グラウンドの照明



仲村 昌慧 議員

問 ピロリ菌検査の費用補助を

答 費用補助は予定していない

仲村 胃がんの発生には、生活や喫煙・ピロリ菌の感染が原因として深く関わっているといわれている。本土では胃がん撲滅を目指して、ピロリ菌感染検査の費用補助を行っている自治体がある。本町でも胃がん対策として検査の費用補助をすることができないか。

町長 現在の本町の上水道環境から見たところ、井戸水や自然水からの感染はほぼないものと考えている。沖縄県における胃がんでの死亡率は全国最下位であり、本町においても近年3年間で1〜5人以下と極めて低い状況であることから、胃がん対策としての費用補助は予定していない。

問 還付方式の見直しを

答 購入時での割引は厳しい

仲村 航空運賃の小児運賃・障がい者割引運賃、フェリー

の片道運賃割引については還付方式となっているが、切符購入時に割引できる方法が取れないか。

町長 購入時での割引が行えれば、利用者サービスの向上に資すると思われるが、事業者負担を伴うことから購入時での割引については厳しい状況である。

仲村 還付手続きは、あじまー館で行っているが、仲里庁舎でも申請手続きができないか。
商工観光課長 仲里庁舎で取り扱いが行えることができるか検討したい。

問 子ども議会の継続開催を

答 継続していきたい

仲村 11月6日に本町で初めて、子ども議会が開催された。子ども議会の感想と次年度以降、継続開催することについての見解を町長・教育長に伺う。

町長 本町の将来を担う子ども

もたちが、自分の住む町に関心をもって共に、子どもの視点からの意見を今後の町政運営に反映できることは、非常に有意義である。教育委員会と調整して今後についても継続したい。

教育長 実際の議場で、議員として体験できたことは、学習への意欲と理解、そして政治への関心を深めることにつながっているものと期待している。継続開催される場合は、今年度同様に学校及び議会事務局との事務調整等の役割をしっかりと行っていく。



継続が求められる子ども議会の様子



玉城 安雄 議員

問 総合計画の推進、ドリ一部 チャレンジとの連携を

答 共同して取り組む

玉城 3月議会において基本計画に沿って予算配分し実施計画を策定し公表するとの答弁だったが進捗状況は。

町長 各課予算要求が実施計画に沿った配分かチェックし3月議会で報告する。

玉城 住民、役場、議会で取り組んでいるドリ一部チャレンジについての見解は。

町長 2年連続で活動に対して受賞するなど高い評価を受けている。今後も同部の活動が広がるよう共同で取り組む。

問 商工業振興を

答 振興予算確保

玉城 商工業の振興は本町の経済の活性化に欠かせない。本町予算において他予算に比べての割合は。

商工観光長 一般会計予算の2.3%だが、一括交付金3憶

5千万のうち約三分の一を充当し振興に取り組む予算を確保している。

玉城 第一産業関連予算に比べ少ない気がするが。

商工観光課長 商工観光関連は、町の補助以外に直接国や上部団体の補助事業等もあり3憶余りの配分となっているが今後とも振興に掛かる予算を確保する。

玉城 関連してバーデハウスのアトラクションの機器等が故障し利用者から不評をきたしているが対策は。

商工観光課長 1箇所のポンプについては発注しているが、今後とも迅速に対応できるように取り組む。

玉城 町民の健康増進施設。観光施設であるサーブス低下にならないよう真剣に取り組んでほしい。

商工観光課長 運営で必要な

設備については修繕して取り組む。

玉城 公共事業の発注の平準化についての見解は。

建設課長 事業申請、補助金申請を経て工事発注の流れであるがその過程で遅れる事業もあるのは確かなので早期発注、平準化に取り組む。

玉城 国指定重要無形文化財である久米島紬の保存継承についての見解は。

町長 課題である販路拡大、開拓。後継者育成、原材料確保等関係団体と連携を図り今後取り組む。



赤嶺 秀徳 議員

問 農道の舗装は

答 計画的に取り組む

赤嶺 儀間や嘉手苅地区内農道のアスファルト舗装整備が遅れている。アスファルト舗装の対策は。

町長 実施計画に基づき計画的に取り組む順次整備する計画である。

問 儀間漁港の拡張は

答 拡張は必要

赤嶺 儀間漁港は漁船の大型化に伴い泊地等が狭隘で南側への拡張整備が必要である。整備計画は。

町長 漁船の大型化で泊地が狭隘化の状況から南側への拡張が必要と考える。



拡張整備が必要な儀間漁港

問 横領事件の進捗状況は

答 懲役5年で結審

赤嶺 横領事件の公判はどの様に推移しているか。

町長 11月21日の第3回公判で検察が懲役5年を求刑し結審、判決は12月17日の予定。

問 普通教室のクーラーは

答 予定前倒しで要望要求

赤嶺 小中学校普通教室にクーラー設置を進める自治体に国が財政支援をすることへの町の取組みは。

町長 当初予定より前倒しで事業実施ができる様要望要求した。

問 公営資材ヤード設置を

答 事業者で確保

赤嶺 町管理に係る公営の資材ヤードの設置は。

町長 共通仮設置費に計上しており事業者において確保してほしい。

問 豚舎に補助事業を

答 調査が必要



喜久村 等 議員

喜久村 養豚農家として規模拡大をしたいが、規模拡大の補助事業はないか。

町長 豚舎建設の補助事業については、畜産クワイスター事業が該当する。協議会の事務局がJAおきなわ久米島支店となっており、事業導入の場合は、農家、役場JAも含めて調査が必要。

喜久村 本町で消費される豚肉は、島外産が多く消費されている現状である。地産地消の観点から見ても必要だと思

うが。
産業振興課長 優良豚を導入する計画も進めている。農家の方々が希望すれば一緒にサポートしていく。

問 防風林の植樹を

答 調査を依頼

喜久村 北真謝の防風林、防潮林はほとんど全滅の状態である。再度、植樹はできないか。

町長 当地区は、15年度から18年度に、沖縄県により、保安林改良事業で実施されている。

る。数年は肥料及び下草刈を実施したが、度重なる台風により災害が発生、沖縄県南部林業事務所に、現地の被害調査を行うよう依頼した。



防風林・防潮林が全滅状態の北真謝



翁長 学 議員

問 農業の助成は

答 継続助成する

翁長 30年度は農業関係に、町からの多くの助成金が補助されている。31年度も、今年通りの助成率に変わらないか。

①さとうきび共済 ②畜産共済 ③家畜導入事業と自家保留 ④その他の事業。

町長 ①さとうきび共済35% ②家畜共済も35% ③優良雌牛導入は県内10頭県外70頭計80頭、優良豚導入が15頭の助成 ④その他事業としては、さとうきびの病害虫防除、干ばつ、かん水対策事業、甘しよの病害虫駆除、園芸施設共済、緑肥種子購入事業、土作り対策促進事業、堆肥購入助成、優良雌山羊導入事業を予定している。

翁長 前からの助成については、他市町村に比べると恩典を受けており、今後とも農家の安定的所得向上のため助成

が必要で継続の助成をお願いする。



助成受け安定的所得向上するさとうきび

問 高齢者の安全対策は

答 改善する

翁長 一般会計予算に安全対策として毎年計上されている。しかし高齢者は杖や押し車を押しながら歩行している。高

齢者から見た危険箇所はどう対処しているか。

町長 区長、町民、地域の皆様から側溝の破損であったり、道路の一部陥没とかがあったりした時、連絡をいただいで補修をしている状況である。

翁長 高齢者に対する安全対策に欠けていると思う。

町長 高齢者の安全対策は、非常に重要なことであり、危険箇所を把握して、担当課を通して改善する。

■平成30年11月 ■■■■■■

- 2日・沖縄県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会に議員出席
- 3日・第16回久米島町文化祭に議長ほか出席
- 4日・第2回久米島夢まつりに議長ほか出席
- 6日・第1回久米島町子ども議会に議長ほか出席
- 8日・米須義明沖縄県商工会会長懇親会に議長出席
- 12日●議会運営委員会 ●第7回臨時会
- 13日・平成30年度久米島町猷魂祭に議長出席
- 14日・全国過疎地域自立促進連盟理事会定期総会に議長出席
- 16日・飲酒運転根絶県民大会に議長出席
・沖縄県後期高齢者医療広域連合臨時会に議員出席
- 19日●議員全員協議会
- 20日・第37回離島市町村議会議長全国大会に議長出席
- 21日・第61回町村議会議長全国大会に議長出席
- 22日・南部地区市町村議会議長会行政視察に議長出席
・平成30年度久米島町「防風林植樹祭」に副議長ほか出席
- 25日・離島フェアに議長出席
- 28日・沖縄県町村議長会事務局職員「研修会・総会」に議長出席
- 30日・沖縄県知事へ要請行動に議長出席



子ども議会の様子

■平成30年12月 ■■■■■■

- 2日・第17回久米島町産業まつりに議長ほか議員出席
- 5日●議会運営委員会
・久米島空港消防救難総合訓練に議長ほか議員出席
- 7日・JA久米島支店組合員交流のつどいに副議長ほか出席
・久米島の観光・物産・芸能フェアに議長出席
- 11日・久米島和牛改良忘年会に副議長ほか出席

- 12日●12月定例会
- 13日●12月定例会
- 14日●議会運営委員会 ●12月定例会
●広報委員会
・久米島・佐賀市交流会に議長出席
- 19日・議会学校授業参観・施設視察に議長ほか出席
・離島医療組合議会に議員出席
- 20日・RAC 謝恩会 in 久米島に議長ほか出席
- 21日・議会・執行部との忘年会に議長ほか出席
- 22日・笠松若茶良公演に議長ほか出席



議員 授業参観の様子

■平成30年1月 ■■■■■■

- 4日・野菜、花卉合同初荷式に議長ほか出席
- 7日・町新年会に議長ほか出席
- 9日・南部地区市町村議会議長会定例総会に議長出席
・南部地区関係団体合同新年交流会に議長・副議長出席
- 10日・消防出初め式に議長ほか出席
- 11日・久米島製糖操業開始式に議長出席
・商工会、観光協会新年会に議長出席
- 13日・町成人式に議長ほか出席
- 15日●議会活性化委員会
- 18日・久米島家畜セリ市場初セリに議長ほか出席
・沖縄県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会、全員協議会に議員出席
- 25日●議員全員協議会
- 26日・宮越沖縄及び北方対策大臣との意見交換会に議長出席
・町新春書道展オープニングセレモニーに議長ほか出席
- 27日・町新春書道展表彰式に議長出席
- 29日・南部地区離島町村長議長連絡協議会に議長出席
・鹿児島県薩摩川内市議会視察に副議長出席
- 30日・町村議長会副議長研修会・交流会に副議長出席

授業参観・施設視察①

球美中学校の学校訪問を行い授業参観・施設視察をした結果下記の事項を確認することが出来た。

- 1、各学年で担任と支援員できめ細やかに、子供たちに接していた。
- 2、中学校になると、子どもたちが体格もある為、改めて冷房設置を早急に行うべきと認識した。
- 3、パソコン教室では、再度、ネット環境の件を確認したら、未だ修理が行われていないとのことだったので、早めの対応をお願いした。
- 4、図書館では旧仲里村・旧具志川村史や各字の字史も置いたらどうか提案した。
- 5、運動場の整備・体育館の雨漏りの修理も早めをお願いした。

※資料や図面だけでは分からないことを、確認し、より理解を深めた。



玄関前で授業参観の説明



理科の授業参観



図書館の図書内容確認



パソコン教室現状確認



運動場の未整備確認



体育館の雨漏り確認

議会の傍聴へ行こう 次回定例会は 3月11日(月)開会予定

3月11日(月)は、町長の施政方針、議案審議を行い
一般質問は、3月12日(火)、13日(水)に
予定しています。

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

多くの方の傍聴をお待ちしております。

編集後記

今年、平成という元号が平成31年4月30日をもって幕を閉じ、5月1日から新元号になり、新しい時代が始まる年です。その新しい時代に、議会は、議員はどうあるべきなのか。地域や町民はどうあるべきなのか。久米島を自分事として考える転換期になると私は考えています。私達は、住民全体の代表者として、住民の立場に立って審議し、住民の声を代弁するということ使命を改めて自覚しているのではないのでしょうか。勿論、地域、町民も同じ様に考える機会にしてほしいと思います。

(吉永議員)

広報委員

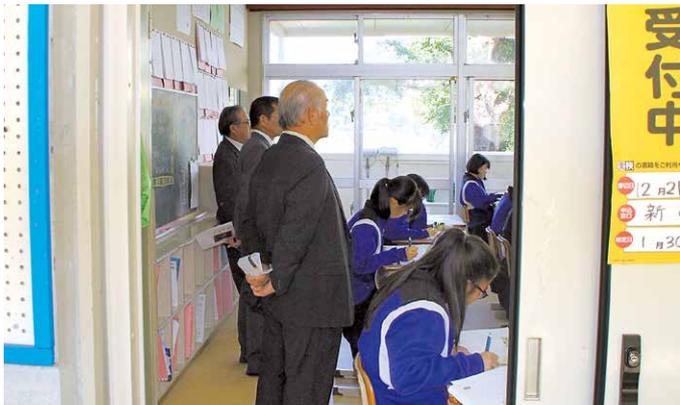
吉永 智弘
 崎平 明
 翁村 正
 仲長 昌
 村長 学
 村長 慧

議会だより66号(1月号)の一部訂正について

P3の子ども議会の様子にて、新川怜央さんと上原来希さんの写真が逆になってしまう誤りがありました。
謹んでお詫び申し上げます。

授業参観・施設視察②

12月19日(水)全議員で、町内の小中学校の授業参観・施設視察することを通して、子どもたちの学校での様子や授業の様子、教室等施設の環境を把握するため行った。今回は球美中学校のみの学校訪問だが、日を改めて他の小中学校の学校授業参観・施設視察を行っていきたい。子どもたちの授業参観や学校視察を確認した。



議員 授業参観の様子

旭日単光章受章 江洲良徳さん おめでとうございます

地方自治功労者に対し授与される高齢者叙勲で、江洲良徳さん(字比嘉)が旭日単光章を受章されました。県庁で叙勲伝達式が行われ、勲記と勲章を授与されました。

江洲さんは平成2年9月に仲里村(現久米島町)議会議員として初当選して以来、4期13年2月の永きにわたり議会活動に精励され、また、仲里村立仲里中学校(現:球美中学校)PTA会長、比嘉神殿等史跡整備事業期成会会長、比嘉字誌編集委員会副会長を歴任し、地域産業の振興発展、教育、文化、福祉の推進に尽力されました。

伝達式には、家族と共に参加され「大変感動しました。」と受賞を喜んでいました。この度の輝かしい受章に心からお祝い申し上げます。



受章された江洲さん(中央)